

此基本配置ハ次ノ理由ヨリ生シタルモノトス助教ハ其班教育ヲ擔任ス故ニ此一助教ヲ意ノ如ク使用スルコトハ即チ其班員全部ヲ教育スルコトトナル故ニ四名ノ助教ヲ意ノ如ク使用セハ初年兵全員ヲ教育シ得ルコトト成ルヘシ初年兵教育主任將校如何ニ熟練ナリト雖モ自己一人ニテ七十餘名ヲ直接ニ意ノ如ク教育シ得ルモノニ非ス助教助手ト稱スル完全ナル手足アリテ始メテ教育ヲ遂行シ得ルモノナリ故ニ主任將校ハ先ツ助教ヲ絶エス教育シ己レノ意ノ如ク計畫ノ如ク動作セシムルコトニ著眼スルヲ要スルナリ助教又常ニ助手ヲ監督シ自己ノ欲スルカ如ク動作セシムルヲ力メサルヘカラサルナリ

教育眼ノ基本配置以上ノ如シ故ニ此基本ニ依リ種々ノ應用配置ノ生スルコトヲ知ラサルヘカラス乃チ基本配置ニハ各助教ヲ同一

能力ノモノトセリ然レトモ實際ニ於テハ其能力ニ差異アルヲ以テ主任將校ノ巡視方法ハ之ニ應スルモノ在ルヲ要スルナリ彼ノ號笛一聲科目ヲ令シタル後ハ助教ノ爲スニ任カセ自己ハ悠々トシテ漫步シ或ハ同氣相求ムル者ト閑談シ徒ラニ豫定時間ノ經過ヲ待チ否ラスンハ自ラ直接ニ兵卒ヲ教育シテ助教助手ノ代理ヲ爲シ教育ノ大綱ヲ握ルノ必要ヲ知ラサル教育者ノ如キハ反省シテ可ナリ

二 教育者ニシテ往々良助教、良助手不足ナルヲ嘆シ教育成績ノ揚カラサルヲ公言スル者アリ此等ハ宜シク教育眼ノ基本配置ヲ研究セハ自ラ良助教、良助手ヲ作ルヲ得テ教育ヲ向上シ得ルノ道ヲ悟ルヲ得ン

第十七 左手ノ訓練

各種教練ヲ通觀スルニ左手ノ訓練ヲ要スル事項多シ乃チ

不動姿勢ノ左手……………左手ノ狀況ニ依リテ精神緊張ノ度ヲ測定スヘシ

擔銃發進第四動ノ左手…前進氣勢ノ充實ハ左手ヲ下ロスコト快速トナル左手ノ下ロシ

据銃ノ左手……………方ノ快速ヲ要スセハ精神ニ鞭撻ヲ與フ

駈歩ノ左手……………三姿勢ノ據銃トモ左手ハ銃ヲ据フル第一ノ支點ニシテ其訓練ノ精否ハ命中ニ大關係アリ

散兵停止伏射ノ左手……………駈歩ニテ劍鞘ヲ握リ之ヲ自然ニ振ルコトハ駈歩ノ調子ニ關係スル所多ク又速歩間或ハ方向變換ニ於テ「駈歩」ノ操令ニテ左手ノ直ニ劍鞘ニ至ルコトハ精神ノ緊張ニ關係アリ

散兵發進ノ左手……………伏射ヲ堅確ナラシムル爲メ左手ヲ地ニ著ク地點ハ適當ナラサルヘカラス

以上ノ如クナルヲ以テ左手ニ就キ注意ヲ怠ラス左手ニ關スル諸動作ヲ完全ナラシムルトキハ乃チ各種教練ノ大部ヲ卒業シ得ルモノト云フヲ得ヘシ世ニ左團扇ト云フコト在リ安慰ノ境ニ達スル點ニ於テ相似タル點無カラスヤ

快速ニ發進スル爲メ體ヲ起スハ左手ノ力ナリ、彈藥ヲ落ササラシムルハ左手ノ働キナリ

第十八 一號令主義

一 操典第六十七「…中隊ヲシテ如何ナル場合ニ於テモ中隊長ノ號令又ハ命令ニ從ヒ舉止恰モ一體ノ如ク云々」ト在リ然リ而シテ號令ニシテ其意ヲ盡ササルニ至リ始メテ命令ヲ用フルモノナルヲ以テ中隊ハ中隊長ノ號令ニ依リ活動スルヲ本則トスヘキナリ之ヲ以テ初年兵第一期ノ教育ヨリ此主義ヲ樹立シ如何ナル場合如何ナル動作ニ於テモ一號令主義ヲ勵行シ之ニ補足ノ言詞ヲ加ヘ或ハ徒ニ複令ヲ爲サシメサルヲ要ス然ルニ第一期教育ニ於テ之ヲ見ルニ主任將校ノ全般ニ向ヒ「右向け」右ト號令シ其音聲ノ徹底充分ナルニ關ハラス助教、助手等ハ忽チ「右ダ 右ダ」ト連呼シ其世話ヤキ振リヲ競ヒ主任將校モ亦之ヲ至當ノ如ク觀ル者アリ其他之ニ類スル例多シ

凡ソ此等ノ動作ヨリ受クル習慣ハ兵卒ヲシテ自己ノ責任ト注意ト
ヲ反省スル觀念ヲ薄カラシメ遂ニハ舉止恰モ一體ノ如キ中隊ノ練
成ヲ得サルニ至ルモノトス

二 操典第十二ニ示サルルカ如ク號令ノ神聖ナルコトハ第一期ノ始
メヨリ之ヲ注入シ號令者モ亦一般ニ同一動作ヲ爲サシメ得ルコト
ハカメテ一號令或ハ一命令(他者ノ補綴ヲ加フルヲ要セサル意)ヲ以
テ之ヲ實行セシムルノ手段ヲ取り以テ志氣結合ノ基礎ヲ成スコト
必要ナリ此間助教助手等ハ其教育班ヲシテ一主任將校ノ掌握内ニ
入ラシムルコトニツキ充分ノ監視ヲ怠ラサルヲ要ス

第十九 指示的矯正ト反省的矯正

助教矯正眼養成ノ必要ナルコトハ既ニ述ヘタル所ナルモ實ニ此良

否ハ教育ノ成績ヲ左右スルコト大ナルモノ在ルヲ以テ更ニ茲ニ一項
ヲ設ケテ私見ヲ述ヘントス

矯正法ニ種々アルモ之ヲ大別スルトキハ指示的ト反省的トニ分ツ
ヲ得ヘシ

一 指示的矯正

兵卒ニ一動作ヲ教ヘ之ヲ會得セシムレハ次ニ之ヲ練磨セサルヘ
カラス練磨ニ於テハ其缺點ヲ除去シ以テ教育主義ニ合一セシムル
コトヲ力メサルヘカラス故ニ助教ノ慧眼ハ一練磨毎ニ其缺點ヲ發
見シ之ヲ指示シ除却ノ爲メニ百方手段ヲ廻ラスハ普通ノ方法トシ
テ不可ナキモ動モスレハ兵卒ヲシテ教練ハ一ノ「穴探シ」ニシテ小言
ヲ受クルコトカ教練タルヤノ感ヲ起サシメ或ハ又助教等ハ兵卒ニ
強テ缺點ヲ附シ何事カ難辯ヲ付ケサレハ教練トナラサル如キ習慣

觀念ヲ有スルヲ疑ハシムルモノ在リ之カ爲メ兵卒トシテハ教練ハ一ノ不快事トナリ其進歩意ノ如クナラス操典第十七「教官ハ兵卒ヲシテ常ニ全力ヲ盡シテ教練セシムル如ク注意スルヲ要ス」ノ全力ヲ盡ササルニ至ルヘシ是レ指示的矯正ノ陥リ易キ缺點ナリトス

二 反省的矯正

吾人思フニ缺點ヲ指示シタル以上ハ之ヲ記憶セシメサルヘカラス兵卒モ亦記憶シタル以上ハ同一事ヲ繰リ返ヘシ指示的矯正ヲ受ケサルノ心懸ケヲ要ス茲ニ於テ反省ヲ必要トス之カ爲メ教育者ニ於テモ兵卒ヲシテ反省セシムルノ方法手段ヲ執ラサルヘカラス其一例ヲ舉クレハ

不動姿勢ニ於テ右肩ノ上カル癖アル兵卒アリ之ニ對シ「右肩ヲ下ケ」ト命スルハ指示的矯正ナリ此右肩ヲ下クルコトニ就テハ兵

卒ハ充分知レリトセハ助教ハ「肩」ト一言ヲ放タハ直ニ該兵卒ハ「失敗」ト思ヒツツ直ニ其右肩ヲ下ケ得タリトセヨ是レ反省的矯正ナリ

「肩」ト云フ簡ニシテ明ナル矯正ノ回ヲ重スルニ從ヒ更ニ簡明ヲ極メテ零ト成ルヘシ乃チ「氣ヲ著ケ」フ號令下ニハ何等ノ矯正ヲ要セサルニ至ラン尙少シク分解シテ之ヲ述レハ

1. (號令 氣ヲ著ケ)+(右肩カスクノ如ク上レリ)+(下ケヨ)=不動姿勢
=同 上
2. (號令 氣ヲ著ケ)+(右肩ヲ下ケ)
=同 上
3. (號令 氣ヲ著ケ)+(右肩)
=同 上
4. (號令 氣ヲ著ケ)+(肩)
=同 上
5. ((號令 氣ヲ著ケ)+(肩))
=同 上
6. 號令 氣ヲ著ケ
=同 上

右ノ(1)(2)ハ指示的ナリ(3)ヨリ反省的トナリ(5)ニ於テ號令ト同時ニ反省シ以テ助教等ノ注意ヲ要セス(6)ニ至リ所謂心手自然ヲ成シ反省ノ必要ナキニ至ルナリ

以上ノ如キヲ以テ教育ノ最初ニ於テハ指示的矯正ヲ必要トスルモ漸次反省的矯正ヲ積ミ以テ良結果ヲ得ルニ至ルヘキナリ

第二十 集合的各個教練ト統一練磨

一 飯粒ニ依リテ糊ヲ作ルニ方リ一粒宛ヲ捏ネタルモノト數十粒ヲ同時ニ捏ネタルモノト等シク糊タルヲ疑ハスト雖モ糊ノ全能力ヲ發揮スルモノハ必スヤ前者タルヘシ前者ハ操典第十九ノ「各個教練ハ綿密嚴格ニ之ヲ行ヒ要スレハ其動作ヲ分チ」及同第二十ノ「兵卒各個ノ能力ト體力トニ依リ教育ノ手段ヲ異ニスヘキ云々」ニ該當スル

適例ト云フヘシ然レトモ教育者ニシテ後者ノ如キ方法ニ依リ各個教練ヲ行フ者尠カラス吾人ハ之ヲ集合的各個教練ト稱ス

二 集合的各個教練ハ教育著眼ノ皮相淺薄ナル者ノ陷リ易キ弊害ニシテ一例ヲ舉クレハ次ノ如シ

少シク速歩ノ要領ヲ得ツツ在ル時各人間ニ若干距離ヲ取リタル一列側面縱隊ニテ一齊ニ助教ノ呼唱ニツレテバタリ、歩調ヲ取ラシメ助教ハ其中央ニ在リテ步調ヲ見ツツ自己ノ眼ニ觸ルル缺點ヲ指摘シツツ在リ此ノ如クシテ干柿ノ如ク「へたなりにかたまる」ト云フ俗諺ヲ實現シツツ在ルナリ

監督足ラサルトキハ教官等ノ目ヲ儉ミテ兎角助教助手等ハ教育班ノ集合的教練ヲ行ヒ毎日ノ小面倒臭キ各個教練ノ氣苦勞ヲ慰スト云フヘキモノカ一齊ニ動作ヲ行ハシメ間誤ツケル兵卒ヲ

大聲叱咤シテ所謂軍紀森嚴面セル者尠カラサルナリ又此ノ如キ時ニハ必ス兵卒ノ動作ノ結果ノミヲ見テ叱責的矯正ヲ加ヘ途ニハ軍隊ト云フ所ハ無理ナコトヲ云フト嘆セシムルノ例アリ注意セサルヘカラス

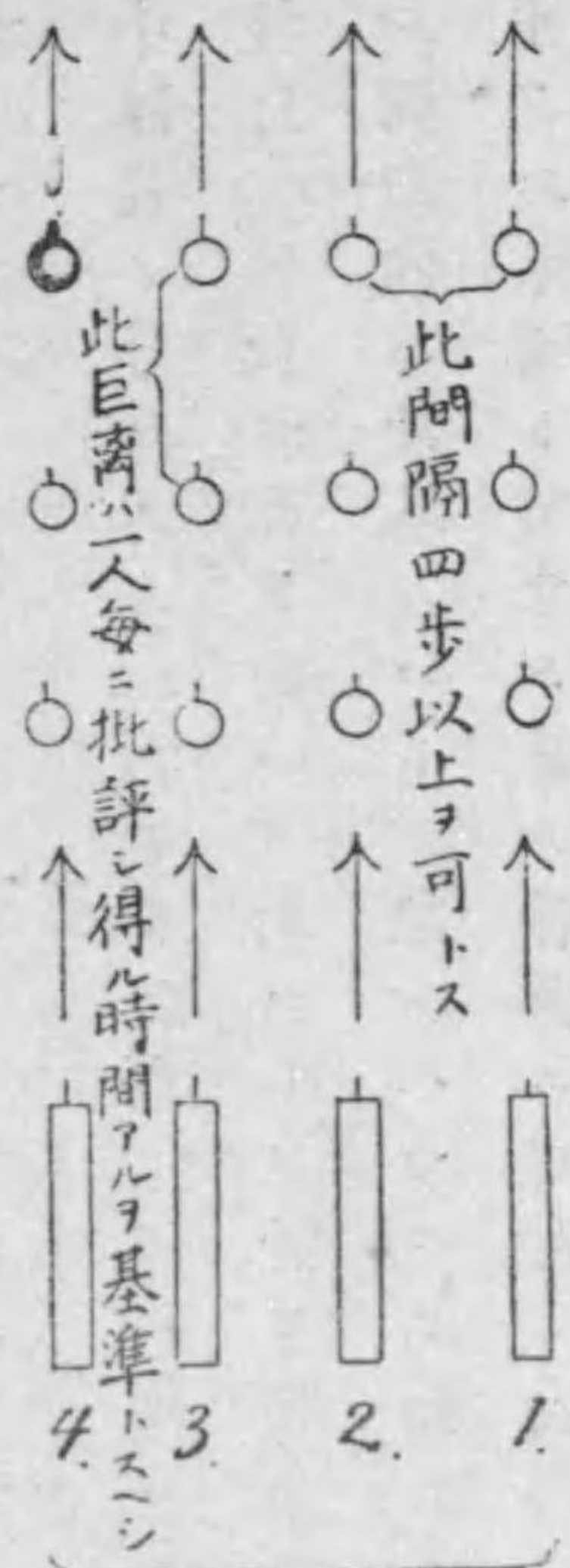
三 「中隊ハ編制並教育ノ單位ナリ……一致團結恰モ一家ノ如ク……」トハ内務書ノ示ス所ナリ「中隊ハ戦闘ノ單位ニシテ中隊長ヲ核心トセル志氣結合ノ基礎ナリ」トハ操典ノ言フ所ニシテ吾人ノ口癖トナル所ナリ茲ニ於テ同一聯隊長ノ統御下ニ在リト雖モ十二個ノ中隊ニハ各々單位色ノ認ムヘキモノ在ルヲ至當トスルコト尙ホ各中隊長ノ顔面ノ異ナレルニ同シキナリ然リ而シテ單位タル中隊内ニ於ケル百般ノ事内容外觀共ニ區々ナルヲ許スヘキモノニ非ス中隊長ノ諸般ノ施設ハ此主義ヲ根本トセサルヘカラサルナリ然ルニ初年

兵第一期教育ハ主任將校ニ一任シ去リ統一上ノ處置ヲ取ラスシテ第二期ニ入ルヤ初年兵ト第二年兵トノ調和ヲ叫ビ或ハ初年兵第一期檢閲ニ於テ不動姿勢ノ齊一ヲ缺ケルコト歩法ノ各人各様ナルコトノ講評乃チ教育單位トシテノ一大恥辱ヲ甘受スルノ中隊長尠カラス

中隊長ノ分身者タル初年兵教育主任將校ハ深ク教育實施ノ全般ニ注意シ各教育班ヲ統一スルコトヲ計リ其初年兵ヲ中隊長ノ希望スル同型内ニ鑄込ムコトヲ怠ルヘカラス而シテ各個教練ヲ部隊ノ確乎タル基礎ト爲サン爲メ各個ニ綿密ニ教育スルハ可ナルモ之ヲ比較シテ相互ノ缺點ヲ發見シ之ヲ減殺スルヲ要ス茲ニ小銃一挺ヲ完成スルニ於テ各部品ハ同一ニ構造セラルルモ之ヲ組ミ立テ完全ナル小銃ト爲ス爲メニハ更ニ多少ノ修正ヲ要スルコトヲ考フヘキ

ナリ試ミニ一例ヲ舉クレハ

不動姿勢ヲ教育セハ全班ヲ整列セシメテ之ヲ通檢シ希望ノ模
型ニ入ラサル者ヲ指摘シ徹底的ニ矯正ヲ促ス速歩教育ヲ終了セ



指定サレタル距離ヲ以テ逐
次發進ス、助手ハ教育上必
要トスル速度ヲ以テ先頭ニ
立テ示サレタル目標ニ向ヒ
模範的ニ行進ス

主任將校ハ正面ヲ通過スル四名ニ對シ簡單
ニ講評シ其良否ヲ助教ニ示スモノトス

○+ 4.
○+ 3.
○+ 2.
○+ 1.

ハ各班ヲ併列行進セシメ各班長ヲシテ主任將校ノ指示スル良否
ヲ的確ニ知ラシメ其要求ニ合スル如ク更ニ矯正ニ力メシムヘシ
吾人ハ右ノ方法ヲ統一練磨ト稱シ以テ前掲ノ集合的各個教練ノ
語ニ對シ教育者反省ノ一語タラシメントスルモノナリ更ニ曰ク集
合的各個教練ハ統一練磨ニ似テ非ナルモノナリト

第二十一 集合解散

一 集合解散トハ所謂新兵教育ノ某時代ニ於ケル流行語ナリシモノ
ナルモ現時ニ於テ尙ホ初年兵教育者ノ頭腦中ニ往來スル一ノ重要
ナル教練科目ナルカ如ク從テ初年兵入營當初ニ於ケル「流行兒」トモ
稱スヘキ科目ナリ試ニ其實施ヲ見ヨ

助教ハ「解レ」ヲ合シ某方向ニ疾驅スルヤ兵卒之ニ次キ競走のニ

疾走ス助教ハ突然他ノ方向ニ停止シ「集レ」ヲ叫フヤ兵卒ハ先ヲ爭ヒ其位置ヲ求メ相衝突シ甚シキニ至テハ笑フ者アリ怒ル者アリテ恰モ觀覽無料演劇ヲ見ル群衆ノ如シ然リ而シテ助教助手等ハ嘻然トシテ此混雜ヲ眺メ或ハ故意ニ兵卒ヲ惑ハシムル如キ態度ヲ以テ集合位置ヲ此方彼方ニ變換シ兵卒ヲ狂奔セシメテ得々タル者アリ

之レヲ以テ一ノ運動ナリ遊戲ナリト云フ夫レ或ハ可ナラン然レトモ此際兵卒ノ叱責ヲ受クル者アルハ如何此ノ如キ窮屈ナル運動ヲ爲シ遊戲ヲ爲シテ叱責セラレテ何ノ快カアラン

或ハ曰ク一ノ精神一新法ナリト或ハ可ナラン然レトモ此ノ如ク兵卒ヲ狼狽セシメ而モ協同一致ノ精神ヲ缺ケル變則極マレル教練ヲ構成シテ迄モ行ハサルヘカラサルヤ精神轉換ノ爲メニハ他ノ眞

ニ合理的ナル方法アルヘキナリ

二 抑モ迅速且ツ靜肅ニ集合スルハ軍隊集合ノ原則ナリ此迅速ト靜肅トヲ實行シ得セシムル爲メニハ操典ニ明示シ在リ乃チ

イ 集合ノ基礎ハ右翼分隊長ニアリ(又銃シ在ル時ハ集合ノ基礎更ニ明カナリ)

故ニ「集レ」ト共ニ右翼分隊長ハ特ニ迅速ニ示サルル位置ニ就ク

□ 集合ノ基準タラサルヘカラス

右翼分隊長ニ定位アリ

故ニ兵卒ハ指揮官ト右翼分隊長ノ關係ヲ知リタル後己レノ歩度ヲ決定スヘキナリ

ハ 兵卒ニハ番號アリ

故ニ比較的遠キ者ハ伸張駈歩ヲ爲スヘク近キ者ハ徐ロニ動作

シテ可ナリ

二 隊形ハ定マレリ

故ニ自己ト他兵トノ關係位置ヲ定メ衝突セサル如ク沈靜ナル動作ヲ要スルナリ

此ノ如キヲ以テ迅速ナルヲ得ヘク又靜肅ナルヲ得ルナリ兵卒ニシテ以上ノ要件ヲ會得シ在ラハ更ニ演練ノ必要ヲ生セサル科目ナリ思フニ實用上ニ於テ又銃ヲ行ハス解散セシメ直ニ之ヲ集合セシムル如キコト果シテ幾回カアル

之ヲ要スルニ「集合解散十分」ト云フ如キ科目時間ハ舊時代ノ遺物ナリ今日ノ教育豫定表ヨリ削除セサルヘカラス而シテ「解レ」「集マレ」ヲ第一期ニ教育セントセハ前掲第十一伍、分隊、小隊教練ニ於テ既ニ述ヘタル如ク機會教育ヲ以テ必要トスル丈ケニ教育スヘキナリ

若シ「集合解散十分」流義ヲ喜ヒ其利益ヲ主張スルノ人ハ宜シク體操教練ノ競技ヲ活用スヘキナリ何ヲ苦テ典令範外ニ變則教練ヲ設クルヲ要スルヤ

第二十二 無用ト有用ナル準備(分解)教育

一 操典第四「教練ハ順序ヲ逐ヒ簡ヨリ繁ニ入り云々」教育令第七「教育ハ順序ヲ逐ヒ最初ハ部分毎ニ綿密ニ實施シ漸次綜合シテ遂ニ之カ完成ヲ期スヘシ云々」ハ教育法ノ根本ヲ示セルモノナリ然ルニ此要旨ヲ頗ル狹範圍ニ解釋シ何モカモ千篇一律ニ徒ラニ分解シ準備教育ニ多大ノ時間ヲ費スモノナシトセス此ノ如キ實施ニ依リ出來上リタル教育ハ其練磨スヘキ時間ヲ甚シク減殺セララルハ自然ナルト共ニ準備ニ相當スル成果ヲ獲サルコト明カナリトス一例ヲ舉ク

レハ

イ 伍分隊等ノ整頓ヲ始ムルニ先チ「最後ノ一步ヲ縮ムルコト」頭ヲ向クルコト「小歩ヲ踏ムコト」ヲ重大ナル教育事項ト爲シ相當ノ時間ヲ費セリ此等ハ初年兵カ各個教練ヲ卒業セサル最初ニ教フルモノトセハ或ハ此ノ如キ分解準備教育ノ必要アラン然レトモ苟モ部隊教練ノ確乎タル基礎ヲ成セル各個教練ヲ了ヘタルモノニ對シ此ノ如キ教育方法ヲ採ルハ全ク二重手間タルヲ免カレス凡ソ各個教練以外ニ各個教練無シ則チ各個教練ノ練成ノ力ニ依リテ部隊内ニテ爲スヘキ各個動作ハ一度其要領ヲ教ヘラルレハ特別ナル演練ヲ施サスシテ出來得ルモノナリ是レ操典綱領第七「少數單一ノ制式」ノ「精練」ヲ發揮スルモノト云フヘキナリ

□ 「折敷伏セ」及各射撃姿勢ニ就キ一般ニ徒手ヲ以テ演練ヲ重ヌル習慣アリ思フニ此等ノ動作ハ如何ニ練磨ヲ重ヌルモ一度執銃トナラハ全ク其趣ヲ異ニシ更ニ練磨ヲ重ネサルヘカラスシテ徒手トシテ行ヒタル効果ハ其時間ニ比シテ甚タ少ナキヲ認メサルヲ得サルナリ吾人ハ此等ヲ徒手ニテ行フコトハ單ニ教育ノ手段ニシテ唯執銃前ニ於テ概念ヲ與フルニ止メント欲スルモノナリ「折敷伏セ」ハ第九ニ於テ速ヘタル如ク演練ヲ重ヌヘキ性質ノモノニ非ス然ルニ往々「折敷伏セ」ヲ徒手各個教練ニ於テ行ハサルヘカラサル如ク考ヘ甚シキニ至リテハ徒手ノ部隊ヲ以テ此演習ヲ繰リ返シ實施スル者アルヲ見ル此等ハ短少ナル教育時間ヲ自ラ好テ短少ト爲シツツ在ルカ如シ注意セサルヘカラス

吾人ハ茲ニ於テカ教育令第六ノ再讀三讀ヲ勸メテ止マサルナリ
〔軍隊教育ノ時日ハ極メテ短少ナルニ拘ラス其要求事項ハ頗ル多
端ナリ故ニ之カ教育ニ任スル者ハ戰時ノ要求ヲ基礎トシ既往及
將來ニ涉リ各課目ノ輕重本末ヲ究メ之カ教育ノ手段方法ヲ仔細
ニ研究シ云々〕

二 無用ナル準備(分解)教育ニ對シ有用ナル準備(分解)教育ハ更ニ茲ニ
迷フル迄モナク前項迷フル處ニ鑑ミテ明カナルヘシ吾人ハ次ニ一
例ヲ舉ケン

操典第五十四「……突込メ」ノ號令ニテ吶喊シ猛烈果敢ニ敵ニ向
ヒテ突入シ格闘ス」トアルニ對シ教育者ハ此吶喊教育ヲ準備スル
コトナク突撃ノ教育ニ入りテ始メテ教育スル者多シ故ニ其吶喊
ハ中隊教練ニ入ルモ常ニ不充分ニシテ忠勇ナル戰士最後ノ聲!!

其聲ニ依リテ更ニ攻撃精神ヲ發揚シ得ルモノト思ハレサルモノ
多シ吾人ハ此吶喊ヲ突撃ノ準備教育トシテ時機ヲ得ル毎ニ實施
シ腹底ヨリ出ツル「ウワー」ノ大吶喊ヲ養成セント欲ス

三 前項吶喊教育ノ他方面ニ與フル利益ニ就テ少シク私見ヲ述ヘン
初年兵入營前ニ於ケル狀況ヲ考フルニ彼等ハ社會ノ青年ニシテ所
謂血氣盛リノ若者ナリ周圍ニ關セス高聲ニテ戲談モ云ヒ合ヒシナ
ラン喧嘩モシタリシナラン大道ヲ都々逸俗歌ヲ唸リ歩キシナラン
此潑潑タル青年元氣ハ何等カノ手段ニ依リテ現ハレツツ在リシモ
ノト察セラル然ルニ一度壯丁トシテ入營スルヤ恰モ首ト尾ヲ縮メ
タル龜ノ如クニ取扱ハレ起床ヨリ就寢迄學科ノ試問ニ答フル爲メ
ノ外沈々黙々トシテ經過スルヲ常態トス教育者茲ニ著眼スル處ナ
クンハ意思薄弱者ハ思郷病ニ陷ラン強テ沈黙ヲ守ルハ人類ノ一大

不快事ナリ況ヤ彼レ青年ニ於テヲヤ乃チ志氣昂ラサラン教練モ亦活氣ヲ缺カン乎

吾人ハ青年者ニハ一日少クモ一回ハ流汗衣ヲ濡サシムヘシ且ツ極度ノ大聲ヲ發シテ天地ヲ叱咤セシメンコトヲ勸ムルモノナリ而シテ軍紀ニ依リテ壓縮サレントスル青年ノ元氣ヲ發揚シ兵營内ニ横溢セシメンコトヲ希フモノナリ之カ爲メニ吶喊教育ハ大ニ利用スヘク又有用ナル準備教育ト云フヘキナリ

第二十三 教育倦怠期

第一期教育間ヲ通シテ教育熱ニハ多少ノ上下スルモノアルヲ見ル特ニ二月下旬頃ヨリ三月上旬頃ニ亘リテ教育ノ進歩一時停止ノ状態ヲ現ハスコト多シ殊ニ教練科目ヲ一通リ終了シ復習練習ヲ主トスル

ニ於テ然ルヲ見ル此際ニ於テハ兵卒ハ自習ノ無味ナルヲ感シ動モスレハ茫然自失ノ狀トナリ助教助手ハ精神ノ緊張ヲ缺キ主任將校モ亦其計畫實施ニ多クノ油斷アルヲ認ムルヲ得吾人此時期ヲ稱シテ教育倦怠期ト云フ

實驗ニ徵スルニ此倦怠期ノ厄ヲ排除シ向上ニ努力シタル中隊ハ其成績概ネ優良ナルヲ見ル乃チ倦怠期ハ第一期教育成績優劣ノ分歧點ナリト認ムルヲ得ルナリ此病厄期ニ屈セス之ヲ突破スル方法如何試ニ一例ヲ舉ケン

兵卒ニ對シ

教練成績ニ應シ甲乙丙ニ區分スヘシ
各人自習ノ要點ヲ示スヘシ一般的ノ注意ハ不可ナリ

助教助手ニ對シ

兵卒成績ノ良否判別眼ヲ試験スヘシ
各班成績ヲ比較シ缺點減少ヲ競ハシムヘシ

主任將校ニ對シ

時々統一的検査ヲ行ヒ缺點ノ指摘ヲ嚴重ナラシムヘシ
復習ニ關スル著眼ヲ明示シ其結果ヲ監視スヘシ
日々ノ教育計畫ヲ益々周密ニシ其遂行ニハ特別ニ努力ス
ル態度ヲ要ス

要スルニ倦怠期ハ最後ノ努力時期ナリ檢閲前ニハ自ラ檢閲心理
ノ利用スヘキモノアルヲ忘ルヘカラス

第二十四 復習

一 操典第二十……熟練ハ教育ノ懇篤ナル復習ヲ厭ハサルトニ依リ
得ラルルモノナリ云々「下在リ教育者ハ熟練ヲ欲スルコト皆然ルヲ
見ルモ眞ニ復習上ノ研究ヲ行ハサル爲メ復習ト云ヘハ何等ノ興味
無ク熱心無クシテ平凡事ヲ繰リ返スニ過キサルモノ多ク所望ノ熟

練ヲ得サルハ甚タ遺憾ナリト云フヘシ又教育ノ初期ハ綿密ナル豫
定表ヲ作製シタル者モ復習科目ニ對シテハ豫定表面上ニ於テ單ニ
「復習」ノ文字ヲ列記スルニ止ルモノ多キハ是レ人情ノ弱點ニシテ又
守成ハ創成ヨリモ難シト云フニ準フヘキモノカ大ニ反省セサルヘ
カラス

復習ニ於ケル著眼ハ教育倦怠期ニ於ケル著眼ト大差ナキモ吾人
ノ既ニ述ヘタル各個教練教育上ノ主義ヲ發揮スルニカムルヲ以テ
大著眼トスヘキナリ

二 復習上ノ研究ヲ行フト共ニ兵卒自習ヲ有効ナラシムルノ手段ヲ
講セサルヘカラス自習ヲ命セラレタル時兵卒ハ爲スコトモ無ク休
止シ在ルトキハ上官ニ「睨マル」ルノ恐れ在リ故ニ其睨ミヲ避クル丈
ケニ手ヲ動カシ足ヲ擧ケツツ在リテ其自習ニ精神ノ入ラサル者ヲ

見ルコト多シ之ヲ誠意ナラスト云ヘハ其レマテナルモ教育者トシテハ兵卒ニ「睨ミ避ケ」ノ自習ヲ爲サシムルハ拙ノ拙ナルモノナリ吾人ハ自習ヲ有効ナラシムル方法トシテ自習監督ヲ勵行セントス乃チ助教ハ某科目教育間一方ニ某科目ノ自習ヲ命スルニ方リ一般的ノ注意ト特ニ必要トスル某々兵ニ對シ特種ノ注意スヘキ點ヲ示スナラン然ラハ助手ノ一人ハ自習監督ヲ專任シ各兵ノ自習ヲ監視シ得ル位置ニ立チ逐一自習動作ヲ注視シ不可ナル點ヲ發見セハ直ニ走テ之ニ赴キ矯正ヲ加ヘ更ニ他ヲ監視スルコト恰モ學校習字教師カ生徒ノ字ヲ稽古セルヲ順次見廻リツツ筆ヲ取り或ハ手ヲ添ヘテ不可ナル點ヲ教導スルニ同シカラシムルナリ

第二十五 教育視察

一 語ニ曰ク「他山ノ石以テ我玉ヲ磨クヘシ」ト中隊長ハ勿論初年兵教育主任將校ハ時機ヲ得ル毎ニ又進テ他中隊ノ教育ヲ視察スルコトヲ勉ムヘシ而シテ優良ナル點ヲ觀レハ直ニ之ニ習フヘシ不良ナル點ヲ觀レハ以テ自己ヲ戒ムヘシ實ニ比較ハ改良進歩ノ捷路ナリト云フヘシ往々自己ノ教育ニ熱中スル餘リ全教育間殆ト他隊ノ教育ヲ視察セス自ラ好テ井底ノ蛙タル者アリ

檢閲ニ於テ他隊ノ良否ヲ觀タリトテ他日ノ參考トナルモノニ非ス唯其結果ニ依リテ原因ヲ推定スルニ過キサルナリ

二 他隊ヲ視察スル爲メニ自己ノ教育ヲ二時間放棄シタリトテ決シテ吝シムヘカラス適當ナル視察ノ二時間ハ他日ニ於テ如何ニ大ナル利殖トナリテ現ハルルヤ知ルヘカラス然レトモ淺薄ナル視察眼ハ其効果少キハ勿論ナリ吾人將校ハ此視察眼ノ向上ニ勉メサルヘ

カラス然リ而シテ視察眼ノ向上ハ單ニ視察ヲ重ヌルニ因リテ得ヘキモノニ非ス偏ニ日夜專念教育ノ爲メ焦心熟慮シ孜々トシテ研究ニ努ムルノ結果ニ因リテ來ルモノナルコトヲ知ルヲ要ス

第二十六 點檢

編制及教育ノ單位ニ長タル中隊長ノ職務ハ頗ル多端ナリ故ニ中隊長ノ分身者タル中隊附將校ニ任務ヲ與ヘ中隊長ノ計畫ヲ實施セシム初年兵教育主任將校ヲ設クルモ其一ナリ乃チ中隊長ハ初年兵教育ニ就テハ特別ナル注意ヲ拂フト共ニ幹部ノ教育振リハ勿論自己計畫ノ進捗ト其結果ニ就テハ充分ノ監督ヲ要ス故ニ教育ノ細部ニ就キ監督スル外時機ヲ得ル毎ニ或ハ機會ヲ設ケテ少クモ一週ニ一回ハ各科目ヲ一巡點檢ヲ行フノ手段ヲ取ルヲ得策トス吾人ハ吾人ノ主義ニ基ク

點檢方法ヲ述フレハ次ノ如シ

不動姿勢

正面ヨリ點檢シ眞直ナラサル者ヲ數ヘ次ニ側面ヨリ點檢シ中隊全般ヨリ見テ上體傾度ノ甚シク差異アル者ヲ數ヘ共ニ其人員ヲ記錄セシム實驗ニ依ルニ最初ニ於テハ正面姿勢ノ不良者三十名内外ヲ數フルモ七八名迄ニハ減少シ得ルモノトス故ニ此最少限ニ近キヲ見レハ其中隊ノ不動姿勢ハ良好ナルモノト斷スルヲ得ヘシ

執銃ニ於テハ特ニ立銃ノ景況ヲ通觀シ(整列ノ斜メ右前方ヨリ通觀ス)其不良者ヲ指示ス

右(左)向、後向

先ツ不動姿勢ノ向キヲ正サシメタル後全員右(左)向、後向ヲ爲サ

シメ其結果ヲ檢シ新方向ニ對スルコト正シカラサル人員ヲ記錄セシム行進間ノ者モ之ニ同シ

速歩、駈歩

統一練廢法ノ要領ニ依リ一班宛逐次點檢シ要領ニ合スルヤ否ヤニ依リ概ネ甲乙丙ニ區分シタル指示ヲ與ヘ甲者人員ノ増加ヲ

圖ラシム

擔銃、立銃、捧銃

先ツ兵卒ノ正面ヲ全班同一ナラシメタル後擔銃ヲ行ハシメ其肩上ニ銃ヲ擔ヒタル狀況ヲ正面ト側面トヨリ通觀シ齊一ヲ缺ケル者ヲ指示ス次ニ立銃ノ不正ナル者ヲ不動姿勢ノ要領ニ依リ指示ス捧銃ノ眞直ヲ檢スルコトモ亦同シ

裝填、抽出

同時ニ行ハシメ最初ハ動作確實ニシテ誤裝填者ナカラシムルコトニ著眼シ爾後迅速ヲ要求ス抽出ニ於テハ彈藥ヲ落ス者ナキヤヲ檢スルヲ主トスヘシ

射擊姿勢及据銃

全班同時ニ行ハシメ立射ニ於テハ斜メ右前方ニ立チ兩脚ノ體重ヲ保ツ狀況ヲ檢シ膝射ニハ斜メ左前方ニ立チ左脚ノ角度及後方ヲ通過シツツ腰殊ニ下腹ヲ前方ニ押出ス狀況ヲ檢シ伏射ニハ後方ヲ通過シツツ上體ノ角度ヲ檢シ斜メ左前方ヨリ左掌ト用心鐵ノ關係(伏射不良ナル者ハ多ク左掌ハ用心鐵ニ接セリ)ヲ注視シ缺點ヲ指摘ス次ニ各姿勢毎ニ据銃セシメ立膝射ニハ特ニ頭ノ保持自然ナルコト各据銃ニハ左手上ニ銃ノ安頓セルヤ否ヤヲ檢スヘシ此等ハ十人十色ノ教育ヲ施スヘキ射擊動作中ニ於テモ殆ト

齊一的檢査ヲ行ヒ得ルモノトス

突 擊

突擊正面ニ立チ氣勢ノ充實ヲ比較點檢ス

散 兵

前進正面ニ立チ發進ノ際ニ於ケル左手ノ用法ヲ注視ス停止ニ於テ目標或ハ前進シタル方向ニ對シ正向姿勢ニ在ルヤ否ヤヲ檢ス

以上ハ一例ニ過キス中隊長トシテハ其教育主義ヲ極メテ短時間ノ點檢ヲ以テ部下ニ吹キ込ミ其實現ヲ期スルノ手段ヲ取ルヲ要ス之カ爲メ全員同時ニ點檢スルヤ一班宛同時ニ點檢スルヤハ自ラ定ムルヲ得ヘシ然リ而シテ以上ノ方法ハ一般監督的點檢法ニシテ各兵毎ノ缺點ヲ詳細ニ檢シ直接教育者ニ注意ヲ與フルハ此點檢法ノ主義ニ非ラ

ナルコトニ注意スルヲ要ス初年兵教育主任將校ハ中隊長ノ監督的點檢ノ結果ニ依リ爾後如何ナル點ニ如何ナル力ヲ加減スヘキモノナルヤヲ決定スルヲ得ルモノトス又主任將校トシテモ中隊長ノ點檢法ニ準ヒ自ラモ時々一般的點檢ヲ行フヘシ乃チ茲ニ統一練磨ノ必要ヲ生スルナリ

第二十七 初年兵檢閱心理

三年在營時代ニ於テ第三年兵等ハ異口同音ニ新兵時代ニ習ヒタルコトハ能ク記憶シ在ルモ其他ノ時期ノモノハ殆ト頭ニ無シト語レルヲ聞ケリ是レ當時ノ教育主義ハ今日ト相違シ第一期檢閱ハ恰モ兵卒卒業試験ノ如ク取扱ハレタルコトト上等兵候補者ナルモノノ教育盛ニシテ第一期終了ト共ニ教育ヲ開始シタルトニ因リ新兵ノ頭ニハ檢

閱ノ無事通過ヲ祈ル心配アリ又上等兵候補者ノ選ニ入ラントスルノ熱モ有リ茲ニ異狀ナル奮勵ヲ生シ有ラユル苦痛ニ堪ヘ努力シタルコトハ吾人ノ記憶ニ存スル所ナリ然リ而シテ現行教育令ノ主義ハ期ノ進ミ年次ノ重ナルニ從ヒ教育ノ向上ヲ企圖セリト雖モ初年兵トシテ第一期檢閲ノ成績ヲ案スルハ今モ昔モ變ハラサルヲ信ス乃チ第一期檢閲場ニ於テ兵卒ノ舉動ノ平素ニ異リ戰々競々トシテ所謂固クナル者多ク出來榮ヘノ惡シキ者ヲ生スルヲ見ルモ明カナリ實ニ可憐ナル壯丁ハ入營後學術科ノ進ムニ從ヒ第一期檢閲ノ難關ナルモノ在ルヲ覺知シ且ツ助教助手等ノ經驗談ニ威嚇セラレ檢閲ノ無事通過ヲ祈ルニ至ルモノニシテ檢閲ハ一ノ興奮劑トナリツツ在ルナリ夫レ初年兵第一期ノ教育ハ軍人基本ノ教育ニシテ且ツ第二期以後ニ於ケル教育ノ基礎ヲ形成スルモノナリ故ニ吾人ハ出來得ル限リノ手段方法ヲ以

テ最モ堅固ナル基礎ヲ形成スルコトヲ勉メサルヘカラス之カ爲メ第一期檢閲ニ關スル初年兵心理ヲ大ニ利用シ極度ニ善用シ彼ノ第三年兵カ「新兵時代ノモノハ忘レス」ト云ヒタルコトト其主義ニ於テハ大差有ルモ「初年兵第一期ニ於テ形成サレタル基礎ハ決シテ破壊セス」ト稱セララル迄ニ至ラシメンコトヲ望ムト共ニ此望ハ必ス達成サルルモノナリト確信ス

第四節 第二年兵教育實施

第二年兵第一期教育ハ既ニ述ヘタル學術科教育計畫ト初年兵教育實施ニ關スル諸件トニ鑑ミテ實施セハ概ネ適當ナルヲ得ルモノト信ス然レトモ世間此實施方法ヲ等閑ニ附セル者多ク偶多數ノ出場人員ヲ得レハ常ニ部隊教練等ヲ行フヲ例トシ各個ノ練成ヲ重セサル者ア

リ此ノ如クンハ如何ソ第二年兵教育ノ必要アランヤ單ニ部隊ヲ成サ
ンカ爲メニ第二年兵ヲ在營セシムルノ感ナクンハアラサルナリ吾人
少シク此實施法ニ就キ私見ヲ述ヘントス

第二十八 普通日ニ於ル教育

一 實施科目ノ配合

教育計畫ニ基キ普通日(各隊概ネ一週ニ二日ヲ定メ第二年兵ヲ成
ルヘク多ク出場セシムル日ヲ演習日トハ稱セリ故ニ吾人ハ之ニ對
シテ他ノ日ヲ普通日ト稱ス)ノ演習實施科目配合ヲ左ノ如ク定ム

- | | |
|----|----------------------------|
| 術科 | |
| 甲 | 午前 執銃各個教練及射擊豫行演習 午後 體操及銃劍術 |
| 乙 | 午前 散兵、陣中勤務及射擊豫行演習 午後 同 右 |

學科

午前 演習前ニ於テ學科ノ全般ニ涉リテ施行ス但シ陸軍禮式ノ如キ
實行的ノモノハ各個教練中ニ行フモノトス

二 實施法

- イ 術科甲ト術科乙トハ隔日ニ交互實施ス乃チ月曜ニ甲ヲ行ヘハ
火曜ニ乙ヲ行フ如シ其時間ハ約十名以上ノ出場人員ヲ得ルモノ
トセハ午前午後トモ約二時間ト想定ス若シ十名以内殊ニ五六名
ノ時ハ午前午後ノ科目ヲ合シテ三時間以内ニテ可ナラン若シ極
端ニ二三名ノ出場者ナル時ニ於テモ豫定科目ハ一通リ實施セシ
ムヘク縦ヒ三十分ニテモ一時間ニテモ可ナリ其他ノ時間ハ中隊
ノ必要ナル内務上ノ勤務使役ニ使用スルモ可ナラン
- ロ 凡ソ術科ニ於テ制式演練或ハ規定の動作ニ關スル事項ハ乃チ
復習ヲ厭ハサルニ因リテ其熟練ヲ期シ得ルモノナルヲ以テ一回

行へハ一回丈ケノ効果アリトス故ニ二三名ノ演習員ト雖モ決シテ之ヲ放棄スヘカラサルナリ

ハ 制式演練或ハ規定の動作ノ復習ハ其著眼點ヲ定メ其演練法ヲ一定シ置キ特ニ下士ヲシテ熟知セシメ將校ノ臨場セサル場合ニ於テモ豫定ノ遂行ヲ期シ得ル如クスルヲ便トス

第二十九 演習日ニ於ケル教育

一 實施科目ノ配合(學科ハ前項ニ同シ)

一週間二日トシテ次ノ如ク定ム

第一演習日午前 執銃各個教練、散兵 午後 射擊豫行、體操銃劍術

第二演習日午前 執銃各個教練、陣中勤務 午後 同 右

(但シ一致團結ノ意味ヲ以テ必要ナル部隊教練若干分時行フ)

二 實施法

イ 午前午後トモ普通日ヨリ時間ヲ延長スルヲ要スヘシ

ロ 演習日ニ於テハ極力出場人員ヲ多カラシムヘシ委員等ヨリ止ムヲ得サル使役ヲ請求スル場合ニ於テモ午前ニ於テスルハ絶對ニ之ヲ禁スルヲ可トス是レ演習日ヲ定メタル趣旨ニ反スレハナリ

ハ 普通日ニ出場セサル者(例ヘハ工卒ノ如シ)ヲ以テ特ニ一班ヲ編成シ普通日ノ演習ニ出場シツツ在ル下士ヲシテ教育セシムルヲ要ス

ニ 執銃各個教練ハ教育計畫ニ述ヘタル如ク特ニ練磨ヲ要スヘキ科目ノミトシ散兵、陣中勤務ニ於テモ亦同様ナリ是レ吾人ハ演習日ノ教育ヲ以テ地方ニ於テ見ル一ノ短期卒業教育或ハ速成教育

ト同一ノ考案ヲ有スレハナリ又此等ノ時間ハ第一第二日ノ午前ヲ合シテ執銃各個教練ト散兵ト陣中勤務トニ三等分トスルヲ可トセン

ホ 此演習日一ハ中隊長ハ萬障ヲ排シテ第二年兵ノ演習ニ出場シ初年兵教育ニ於テ述ヘタル要領ニ依リ統一練磨ト點檢ニカムルヲ要ス是レ第二期ニ入リテ初年兵ト第二年兵トノ不調和ノ嘆ヲ發セサランカ爲メニ必要ナリトス

(附言) 第一二年兵教育ニ關スル雜感

一 第二年兵ノ各個教練ヲ行フ際助教タル下士ノ動作ヲ見ルニ全然初年兵第一期教育ノ態度ニ同シク「左手ヲ引ケ」右肩ヲ後ヘト指示的矯正ヲ繰リ返セリ既ニ一ケ年ノ教育ヲ了ヘタル此等第二年兵ノ缺點ハ概ネ一ノ固癖タルヘシ然ルニ依然トシテ初年兵第一

期ノ而モ最初ノ時期ニ於ケル矯正ヲ行ヘルヲ見ルニ就テハ固癖ヲ除去シ得サルハ勿論遺憾ナルモ下士等カ依然トシテ此ノ如キ矯正法ヲ行フニ於テハ軍隊教育ハ實ニ何ノ日ニ於テカ向上スヘキモノソ第二年兵ノ各個教練ト初年兵ノ各個教練トハ其訓練ニ如何ニ差異アラシムヘキヤ教育者須ラク反省シテ可ナリ第一期檢閲ニ於テ第二年兵ノ各個教練カ初年兵ニ劣レル者多キヲ怪マサル如キ又第二年兵ノ演習日少キノ故ヲ以テ第一原因ト爲セル如キハ未タ教練上ニ於ケル全努力ヲ用キサルノ證ニシテ怠慢ノ責ナクンハアラサルナリ

二 平時經理ノ必要上ヨリ使役スル工卒ハ演習ニ出場シタル際ハ特ニ注意シテ訓練スルヲ要ス武技ノ如キハ工卒タル故ニ寛假スル如キコト無キヲ要ス故ニ機會ヲ逸セス教育スルノミナラス休

日ノ午前若干時ハ特ニ教育ヲ行フヲ至當トス是レ彼等ハ戰時ニ於テハ第一線ニ起ツヘキ戰鬥兵ナリ平時ノ工卒タリシ故ヲ以テ其責ヲ減スルヲ得サルナリ乃チ教育令第六ノ「戰時ノ要求ヲ基礎」トスルハ是レナリ

三 第一期ニ於テ第二年兵タル上等兵ノ教育ヲ疎慢ニシ或ハ全然使用スルノミニテ教育セサル傾アルハ遺憾ナリ抑モ上等兵ハ兵卒ノ上位ニ在ルト共ニ小ナル幹部的勤務ニ就カサルヘカラス然ルニ第一期檢閲ニ於テ陣中勤務ノ各個動作(上等兵トシテ步哨掛、斥候長等)ノ出來サル者多シ故ニ初年兵掛ト雖モ交互ニ第二年兵ノ陣中勤務ニ加ヘ教育セサルヘカラス右ノ外上等兵ニハ應用體操、銃劍術ヲ特ニ教育シ練磨セシムルヲ要ス是レ第二期以降ニ於テ教育ノ助手トシテ使用スルノ必要アレハナリ

委員助手等ニ勤務セル上等兵ノ偶々演習日ニ於テ中隊ノ演習ニ出場スルヤ直チニ助手トシテ使用スル者アルハ適當ナラス此等ノ上等兵ハ宜シク列中ニ入レ自己ノ動作ヲ演練セシムルヲ至當トス教育者ニシテ往々演習員ノ多少ニ關ハラス上等兵ハ必ス助手タルヘキモノト誤解セル無シトセス(上等兵ニ就テハ尙ホ論スヘキモノアルモ上等兵候補者ノ部ニ讓ル)

四 夜間學科廢止ハ初年兵ニ就テ述ヘタル所ナルモ第一期ノ夜間ハ下士及上等兵ニ對シテ學科教育ヲ行フニ適スル時期ト信ス

五 步哨、斥候、散兵ノ教育ニ就テハ第二期ノ部ヲ參照スヘシ

第五節 教育ノ指導監督

教育單位タル中隊ヲ第一ニ指導監督スル者ハ當該大隊長ニシテ各

中隊ノ齊一進歩ヲ圖ルニ全カヲ注クノ責任ヲ有ス然リ而シテ聯隊長ハ聯隊ニテ行フ教育ノ全責任者ナリ乃チ教育ヲ司リ且ツ之レヲ檢閲ス吾人少シク教練ニ關スル聯大隊長ノ指導監督ニ就キ研究ヲ試ミントス

第三十 比較検査

一 大隊長ノ指導監督

大隊長ハ各中隊ノ訓練ヲ次ノ著眼ヲ以テ指導監督スルヲ要ス

- 1 幹部ノ教育上ノ主義及教育方法適當ナルヤ
 - 2 他中隊ニ比シ齊一進歩ニ後ルル所ナキヤ
- 第一著眼ヲ實行スル爲メニハ日々巡視計畫ニ依リ一箇中隊ノ爲メ少ナクモ一時間教育ニ臨場シ當日ニ於ケル某科目ノ實施計畫及

達成セントスル希望ヲ承知シタル後主トシテ主任將校以下助手ニ至ル迄ノ教育振リヲ「教育眼基本配置」ニ於ケル主任將校ノ動作ニ準シテ視察シ其間ニ於テ兵卒動作ト教育者ノ伎倆トヲ對照シ其進歩ヲ促ス爲メノ注意ヲ中隊長又ハ主任將校ニ與フヘシ乃チ主任將校ハ助教助手ヲ教育指導スルコトニ因リテ兵卒ノ成績ヲ向上シ得ル如ク大隊長ハ中隊長及主任將校ヲ指導スルコトニ因リテ當該中隊ノ成績ヲ向上シ得ルナリ語ニ曰ク「源泉濁リテ末流ノ清キヲ得ンヤ」ト十分或ハ二十分ノ僅少時間中隊ノ教育ニ臨場シタルノミニテ何等ノ所見ヲ述ヘス然ルニ時ニ查閱ノ如キヲ行ヒ其結果ヲ講評シ或ハ臨場シタルモ兵卒ノ働ニノミ著眼シ其可否或ハ進歩不進歩ヲ述フルニ止マル如キハ不親切ナル指導監督ト云ハサルヘカラス

第二ノ著眼ヲ實行スル爲メニハ次ノ要領ニ依リ比較検査ヲ行フ

ヲ可トス

比較検査ノ一例

科目

速度

比較時期

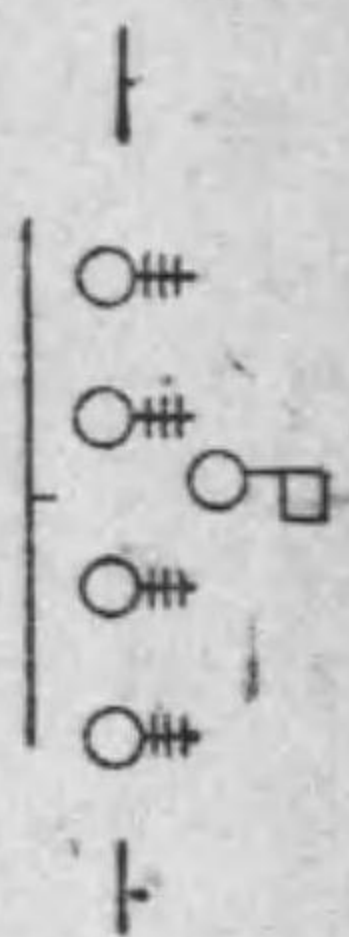
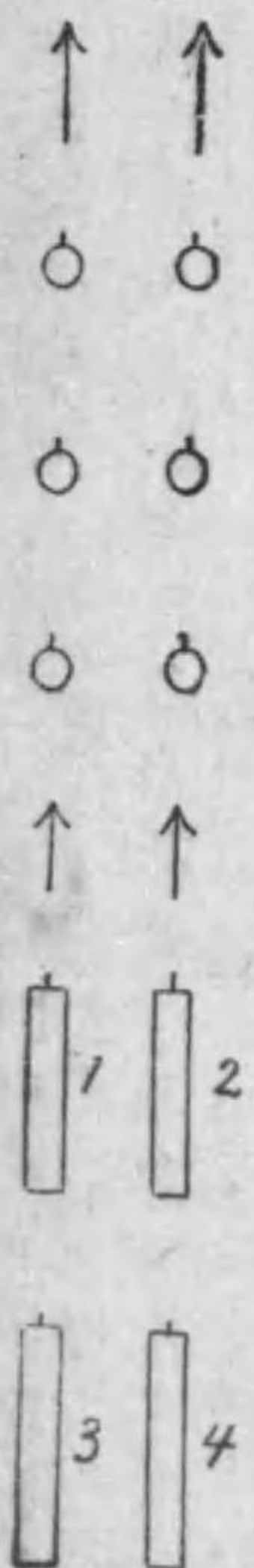
單獨ニテ連續行進ヲ許シタル者約三十名内
外ヲ得タル頃

比較人員及程度

約十五名、良好ナル者ヲ選抜ス

比較法

大隊長平常ノ監督ニ依リテ第一回ニハ比較
的可ト認メタル一中隊ト可ナラスト認メタ
ル一中隊トヲ併列行進セシム第二回モ同シ



數字ハ中隊號ヲ示ス例ヘハ可ナル第一中隊ト可ナラサル第二
中隊、可ナル第四中隊ト可ナラサル第三中隊トス
助教助手ハ兎學セシムルモノトス
大隊長ハ一人毎ニ可否ヲ決定スルモノトス

右ハ第一回ノ速度比較検査ノ一例ナリ故ニ各兵ノ歩ノ速度、歩
幅等ハ著眼事項ニ非ス歩法ノ形式ヲ主トスルモノナリ而シテ速
歩ノ尙ホ向上シタル時第二回ヲ行ヒ完成ニ近ツカントスル時第
三回ヲ行ヒ其人員及比較中隊ノ組合セ方ハ狀況ニ依リ種々ニ變
更スルハ勿論ナリ此他重要ナル科目ニ就キ「統一練磨」ノ要領ニ準
ヒ比較検査ヲ行フヲ可トス凡ソ眼ヨリ受クル教訓ハ耳ヨリスル
モノヨリ速カナリ乃チ大隊長ハ教育ニ就キ各主任將校ニ苦言ヲ
並フルヨリモ眼ヨリスル此比較検査ヲ行ヘハ忽チ反省トナリ努
力トナリ教育ノ齊一進歩ヲ促スノ價值多キコトヲ知ルヲ要ス然

リ而シテ比較検査ハ一種ノ競争試験ナリ故ニ各中隊教育進歩ノ
 狀況ニ鑑ミ比較時期人員ヲ決定スルハ注意ヲ要スヘキコトト信
 ス又不良者ノミヲ比較セントスル者アルモ吾人ハ不良者ヲ比較
 スルハ精神上ニ於テ之ヲ好マス宜シク多クノ優良者ヲ得之ヲ範
 トシテ不良者ヲ矯正セシメンコトヲ欲スルモノナリ
 以上ノ如クニシテ一方ニ於テハ教育者ヲ指導シテ教育方法ヲ向
 上セシメ他方ニ於テハ齊一進歩ノ結果ヲ獲ルニ至ラン哉

二 聯隊長ヨリ受クル指導監督

聯隊長ノ業務ハ多忙ナリ故ニ大、中隊長ハ僅少ノ時間ヲ以テ聯隊
 長ヨリ大ナル教訓ヲ迎へ得ル如ク次ノ件ニ注意スルヲ要ス

中隊長

〔初年兵ノ點檢ヲ行フ時成ルヘク聯、大隊長ノ臨場ヲ
 請フヘシ〕

中隊長教育主任將校ノ教育技能ニ就キ適時聯隊長ニ
 報告スヘシ

大隊長

各中隊ノ成績ハ適時聯隊長ニ報告スヘシ
 比較検査ノ際ハ聯隊長ノ臨場ヲ請ヒ且ツ他大隊長ヘ
 通報スヘシ

第三十一 査閲

一 上官ニシテ教育ノ最初ニ於テ中隊長ノ教育計畫ヲ是認シタル以
 上ハ其計畫ノ遂行ヲ尊重スヘク其教育途中ニ於テ限定的ノ査閲ヲ
 行ヒ濫リニ制限ヲ加フルノ不可ナルコト勿論ナリ乃チ教育ノ到著
 點ハ同一ナルヘキモ教育單位タル中隊ノ計畫ハ必スヤ區々タルヘ
 キモノ在ルヘキヲ以テ査閲ヲ行ハントスル場合ニハ各中隊ノ教育

進捗ノ狀況ヲ稽ヘ査閲科目ヲ決定スルヲ必要トス若シ此方法ヲ誤ルトキハ一様ナラサル各中隊ノ教育計畫ヲ強テ統一セントスルノ無理ヲ生シ中隊長ヲシテ有終ノ美ヲ成サントスル決心ヲ放棄シ査閲ヲ以テ第一ノ目標ト爲スニ至ラシムルコトナキヲ保セス故ニ査閲際ニ於ケル講評ノ如キモ第一期査閲ト異リ格段ノ注意ヲ以テセサレハ教育進歩上ニ錯誤ヲ來スコト無シトセス

二 査閲ハ教育ノ結果ヲ檢スルコト査閲ト異ナラサルヲ見ル乃チ教育ノ結果ヲ講評シ將來ノ進歩ヲ促スコト素ヨリ必要ナルモ中隊教育ノ直接監督者タル大隊長トシテハ寧ロ教育方法手段ヲ監督指導スルヲ第一ノ着眼トシ彼ノ結果ノミヲ見ル査閲ノ如キハ寧ロ之ヲ避クルヲ適當トセサルヤ

第六節 査 閲

吾人ノ位置ヲ以テ茲ニ査閲ニ關スル私見ヲ述フルハ僭越ノ譏ヲ免カレスト雖モ、 閱補助官トシテ聯隊長ヲ輔佐シタルノ實驗ニ照シ感得シタル事項ヲ述ヘ以テ受檢者ノ教育資料ノ一タラシメントシ且ツ前各節ニ涉リテ教育上ノ主義ヲ研究シタルカ爲メ茲ニ「査閲」ニ關スル研究ヲ爲シ以テ首尾一貫セル主義ノ發表ヲ試ミントスル意ニ外ナラサルナリ

第三十二 計 畫

一 第一期査閲ノ根本主義

教育令第二百二十三條査閲ノ目的ハ軍隊教育ノ成績ヲ檢シ其進歩發

達ヲ促スニ在リニ基キ如何ナル手段ヲ採ルモ進歩發達ノ一大資料
タレハ可ナリ然レトモ亦第一期檢閲トシテハ特ニ顧慮ヲ要スヘキ
モノ在リ乃チ教育令第十九「初年兵第一期ノ教育ハ軍人基本ノ教育
ニシテ且第二期以後ニ於ケル教育ノ基礎ヲ形成スルモノトス」ニ依
リ第一期檢閲ハ他期檢閲ニ對シテ基礎的檢閲ト稱スルヲ得ヘシ故
ニ檢閲官ノ檢閲科目ヲ命シ其成績ヲ檢スル方法ハ教育單位タル各
中隊ニ對シ悉ク同一方法ナルヲ要スルナラン此ノ如クニシテ各中
隊基礎教育ノ成績ヲ比較シ將來ノ齊一進歩上ニ利益アラシムヘキ
ナリ然レトモ茲ニ注意スヘキハ以上ノ斷定ハ是レ一般的理想ニシ
テ各中隊ヲ悉ク齊一ナラシムル如ク指導監督シ得タルコトヲ基準
トスルモノナリ實際ニ於テハ各中隊毎ニ長短アルヲ以テ檢閲官ト
シテハ將來ノ爲メ中隊毎ニ異リタル檢閲方法ヲ採ルヲ必要トスル

コト在ルヘシ

二 第二年兵ト初年兵

教育令改正前ニ於テハ第一期檢閲ト云ヘハ悉ク新兵卒業試験ノ
如ク取扱ハレ古兵ハ殆ト第一期檢閲ノ附録視サレ或ハ全然之ヲ行
ハサリシヲ記憶ス然ルニ教育令改正セラレ「兵卒ノ教育ハ急遽ノ進
歩ヲ求ムルコトナク教育期及教育年度ノ進ムニ從ヒ漸次其程度ヲ
高メ……退營期迄ノ間ニ逐次完成ヲ期スヘキモノトス」ト第二十九
ニ明示セラレタルニ關ハラス現時尙ホ第二年兵ハ第一期檢閲ニ冷
遇セラレ其檢閲ノ結果ヲ將來ニ及ホス程度ノ大ナルコトヲ顧ミラ
レサルモノ無クンハアラス初年兵ノ檢閲ハ素ヨリ重要事ナリト雖
モ第二年兵ノ成績ヲ檢スルコトハ教育令一般教育ノ大根本義ヨリ
シテ更ニ重要事ナリト云フモ敢テ過當ノ言ニ非スト信ス故ニ吾人

ハ第一期檢閲ニ於テハ先ツ第二年兵ヲ檢閲シ次ニ初年兵ヲ檢閲シ
 第二年兵ヲ以テ總テノ基準タラシメントスルモノナリ彼ノ「第二年
 兵ノ何々ハ初年兵ニ比シテハ可ナリシ」ト云フ如キハ不適當ノ言ナ
 リト云フヘシ又中隊毎ニ第二年兵ト初年兵ヲ同時ニ檢閲シ講評ス
 ルハ一考ヲ要スヘキモノナラン何トナレハ此ノ如キ方法ハ動モス
 レハ第二年兵ノ成績ヲ當該中隊ノミノ狭小ナル範圍ニ於テ講評ス
 ルニ止リ第二年兵ノ程度ヲ向上スル所以ニ非サルヘシ故ニ第二年
 兵ハ第二年兵トシテ別ニ行ヒ各中隊ヲ比較シ聯隊ト云フ大範圍ニ
 於テ一般ノ向上ヲ企圖スルヲ可トセン之ヲ要スルニ多クノ教育者
 ノ努力ハ初年兵第一期教育ニ偏傾スルコト尙ホ教育令改正前ニ似
 タルモノ在ルヲ以テ第二年兵檢閲主義ヲ一新スルコトハ時弊矯正
 策ナリト信スルナリ

三 術科檢閲科目ノ決定

基礎的檢閲ナルヲ以テ教育令附表第十九ノ檢閲事項ニ示ス範圍
 内ニ於テ全般ニ涉リ檢閲スヘキハ勿論ナリト雖モ檢閲時日ト平素
 指導監督ノ結果トニ因リ各細部ニ就テハ輕重ヲ稽ヘ枝葉ヲ捨テテ
 檢閲スルヲ要スヘシ

イ 第二年兵ニ就テ

執銃各個教練ハ不動姿勢、速歩、駈歩、裝填、射擊姿勢、捧銃、立銃
 散兵各個教練ハ停止及射擊ニ關スルコトヲ主トスヘシ
 陣中勤務ハ斥候、步哨ノ勤務ヲ主トスヘシ

ロ 初年兵ニ就テ

執銃 個教練ハ不動姿勢、速歩、駈歩、裝填、射擊姿勢、擔銃、捧銃、立銃
 ニ就テハ充分ニ練磨ノ結果ヲ檢シ此間ニ於テ停止行進間ノ右

(左)向、後向ヲ附帶的ニ檢ス

散兵各個教練ハ教育ノ途中ニ在ルモノナリ故ニ練磨ノ度ヲ檢スルニ非スシノ概ネ出來得ルヤ否ヤヲ檢スルニ止ムヘキナリ

射擊豫行演習ハ射擊姿勢ト共ニ据銃照準、擊發動作ヲ檢スルモノトス

射擊豫行演習ノ主眼點ハ射擊ノ方法ニアリ然ルニ此檢閲科目ニ對シテ照準(照準鑑査)ノミヲ檢スル者尠カラス而モ射擊ノ方法ニ就テハ各個教練檢閲中ニ於テ數名ヲ射擊姿勢ト共ニ檢スルニ止マルハ檢閲ノ主義徹底セサルモノト云フヘシ

四 初年兵掛タル下士兵卒ノ受檢

第一期檢閲ハ兵卒ノ檢閲ナルヲ以テ下士ノ各個教練等ヲ檢閲ス

ヘキ趣旨ノモノニ非サルヘク下士ハ其教育シタル兵卒ノ成績ヲ檢閲セララルルニ方リ參列スルヲ當然ナリトス然レトモ檢閲ハ常ニ教育ヲ意味スルモノナルヲ以テ此等下士ヲシテ兵卒動作ノ號令ヲ下サシメ或ハ檢閲場整理ノ爲メニ使用スルヲ可トセン

初年兵掛タル兵卒ハ執銃及散兵各個教練檢閲ニハ之ヲ一團ト爲シ初年兵ノ檢閲ノ際同時ニ檢閲スルカ又ハ第二年兵トシテ受檢セシムルカノ孰レカヲ選フヲ可トセン又第二年兵ノ陣中勤務ヲ檢閲ソ際ニハ步哨掛或ハ斥候長トシテ受檢セシムヘキモノナラン

五 檢閲科目ニ對スル受檢人員ノ決定

曩ニ述ヘタル吾人ノ教育主義ニ基キ次ノ如ク決定セントス

イ 第二年兵

□ 初年兵

受檢總員

(甲)

單裝檢査
不動姿勢
兵卒心得

(乙)

裝填及射擊
步速
步駈

(丙)

學科
陣中動勢
散兵各個教練

受檢總員

(甲)

單裝檢査
不動姿勢
兵卒心得

(乙)

裝填及射擊
組銃
棒銃
石左後向
札式

(丙)

步速
步駈
作行進開動

(丁)

學科
散兵各個教練

備考

- 一 暈滯ヲ施シタルモノハ執銃各個教練檢閱日中ニ別ニ補助官ヲシテ行ハシムルモノトス
- 二 人員區劃法ハ同一兵卒カ成ルヘク異リタル科目ノ檢閱ヲ

六 兵卒程度區分

- 受クル如ク注意シ在リ乃チ第二年兵乙ニ於テ射擊ニ關スル檢閱ヲ受ケタル者ハ丙ニ於テ主トシテ學科ノ試問ヲ受ケ乙ニ於テ駈步禮式等ヲ行ヒ又射擊ニ關スル檢閱ヲ受ケサル者ハ丙ニ於テ散兵各個教練(第三項參照)ヲ行フヲ以テ自然ニ射擊ニ關スル檢閱ヲ受クルコトナルカ如シ
- 三 學科區劃ハ記憶ヲ主トスル事項ニ就キ特ニ行フモノヲ示ス

往年第一期檢閱ニ於テ中隊成績ノ良好ナランコトヲ競フノ餘リ劣等兵卒ノ一名ナリトモ檢閱官ノ眼ヨリ免カレ所謂「ボロ」ヲ出ササルコトヲ希ヘル教育者有ルヲ聞ケリ語ヲ換ヘテ云ヘハ平素ノ努力ノ足ラサリシ點ヲ檢閱ノ際ノ一ノ僥倖ニ依リテ之ヲ補ハントスル

モノナルカ如シ然レトモ現行教育令ニ因リ檢閱官タル聯隊長ハ平素各中隊一般ノ成績ヲ知悉スルカ故ニ檢閱ノ一時的出來榮ヘニ依リ其中隊ノ成績ヲ左右スル事ナキヲ以テ各中隊長ハ公明正大ニ自己ノ盡シタル全努力ノ成果ヲ展開スルヲ可トセン茲ニ於テカ檢閱官ハ檢閱ノ際不良者ヲ指摘スルヨリモ寧ロ中隊長ヲシテ意ノ如ク成果ヲ得サリシ劣等者ヲ區別セシメ以テ彼此對照シテ其成績ヲ檢スルハ有利ナル方法タラン乎

七 學科檢閱 (教育令附表第十九備考一參照)

學科ハ術科ノ補助物タリ故ニ術科ヲ檢スルト共ニ兵卒ノ知ルヲ要スル事項ハ之ヲ檢スルヲ必要トセン之ヲ教育令所定ノ檢閱事項外ノモノト云フヘカラス故ニ軍裝檢査中ニ於テ兵器被服ノ手入ニ關シ實行上ノ心得ヲ問ヒ或ハ射撃ノ檢閱中ニ於テ擊發ニ關スル心

得ヲ試問シ記憶ト實行トヲ對照スルハ必要ナルヘシ更ニ又記憶理解ヲ主トスル學科ニ就テハ特ニ時間ヲ設ケテ檢閱スルノ必要アラ

八 檢閱日割及時間ノ決定

前記諸研究ヲ綜合シテ最小限度ノ檢閱日割ト時間ヲ想定スルコト左ノ如シ

第一日 第二年兵〔甲、乙、丙〕陣中勤務、散兵各個教練ヲ除クノ科目〕二箇中隊宛同時ニ講評ヲ行ヒ二中隊ヲ約一時間トス

學科ハ別ニ一箇中隊宛行フ

初年兵〔甲、乙、丙、丁〕學科ノミノ科目〕六箇中隊ニシテ一中

第二日 隊約一時間トス但シ學科ハ別ニ一箇中隊宛行ヒ六箇

中隊ヲ了ルモノトス

第三日 第二日ニ同シ

午前第二年兵及初年兵散兵各個教練(第二年兵丙科目、

第四日 初年兵丁科目参照)

午後第二年兵陣中勤務(第二年兵丙科目参照)

備考 學科ハ檢閲補助官ヲシテ行ハシムルモノトス

九 檢閲方法ノ發表

檢閲ハ軍隊年中行事中ノ重要ナル儀式トモ稱スヘク檢閲場内ノ整然トシテ一絲亂レサル状態ハ以テ其隊ノ秩序ヲトスヘキモノナリ故ニ檢閲ノ實施法ニ就テハ相當ノ打合せヲ爲シ準備セシムルヲ必要トスルモ檢閲場ニ於ケル煩雜ヲ避ケンカ爲メニ檢閲要領ヲ過早ニ發表シ何兵カ何科目ヲ行フヘキヤヲ推定シ得ル程度迄ニ準備セシムルハ適當ナラス又其間精神上ニ於テ忌ムヘキ弊害ヲ生スルヲ要ス

ヤモ計ルヘカラス故ニ檢閲場ニ於テ補助官ノ活動ニ依リ出來得ル事ハ前以テ發表セサルヲ可トセン殊ニ陣中勤務ノ如キ頭腦ノ働キヲ檢閲スルモノニ在リテハ全ク之ヲ秘密ニ計畫シ且ツ先頭中隊ノ受檢ニ因リ次中隊カ問題ヲ知り得ル如キ方法ハ之ヲ避クルノ工夫ヲ要ス

發表事項

檢閲日割、時間、科目、受檢順序、服裝、材料準備ニ關スル事項

打合せ事項

檢閲前日ニ於テ第一ノ檢閲中隊ヲ以テ檢閲實施要領ヲ擬習シ他中隊長及ヒ其他ニ實地ニ就キ承知セシム但シ檢閲科目ノ細部ノ割當ノ如キハ補習官ニ於テ檢閲ノ現場ニテ指示スルモノトシ此打合せニ於テハ想定のニ指示スルヲ可トス

第三十三 實施及講評

前項ノ研究ニ基キ其實施要領ヲ研究スルコト左ノ如シ

一 整列及敬禮

所定ノ隊形ヲ以テ檢閲官ヲ迎ヘ敬禮ヲ行ヒ報告ヲ爲ス此間整列ノ狀況及頭ノ向ケ方ノ齊一注目法ヲ檢ス

二 不動姿勢、軍裝檢查及兵卒心得

檢閲官ハ特種ナル缺點ニ就キ中隊長ノ答申ヲ聞クノ外逐一指摘シ或ハ矯正スルコト無ク成績ノ大體ヲ檢知スルヲ主眼トシテ各兵ノ前面ヲ一巡シツツ兵卒精神修養ノ程度ヲ檢スル試問ヲ行フ此間補助官ハ不動姿勢、軍裝ニ就キ著眼點ヲ定メ檢閱スルモノトス又兵器、被服其他ニ就キ實行の答解ヲ爲シ得ル件ニ就キ試問ヲ行フ例ヘ

ハ汝ハ帽子ヲ如何ナル要領ニテ手入スルヤ、彈藥盒保存上ノ注意スヘキ點如何ト云フカ如シ

檢閲區分掛補助官ハ乙科目ヲ行フ爲メ人員區分及位置ヲ特務曹長及曹長ニ示ス(豫メ印刷シタルモノヲ交付シ説明ス)

三 第二年兵乙科目實施法

イ 裝填及射擊

全員同時ニ裝填ヲ行ハシメタル後三、四名宛射擊三姿勢ト据銃、照準、擊發ヲ檢ス但シ膝射、伏射ヲ主トス此間射擊ニ就キ心得ヘキ件ヲ試問ス補助官モ亦速歩、駈歩ヲ行フ者ニ對シ同試問ヲ行ヒ禮式ヲ行フ者ニ對シテ禮式上ノ試問ヲ行フモノトス

ロ 速歩ハ五歩ノ距離駈歩ハ八歩ノ距離ヲ以テ檢閲官ノ前面ヲ通過セシム但シ不良者ハ後尾ニ在テ行進セシム此間特ニ擔銃ノ景

況ヲ檢ス

ハ 禮式ハ專任補助官ヲシテ與ヘシメタル問題ヲ實施セシム

四 初年兵乙科目實施法

イ 裝填及射撃ハ第二年兵(イ)ニ同シ

ロ 擔銃、捧銃、右(左)向、後向ハ全員同時ニ行ハシメ其景況ニ依リ必要トスル者ニ對シ若干名各個ニ行ハシム

ハ 禮式ハ第二年兵ノ要領ニ同シ

五 初年兵丙科目實施法

イ 速歩、駈歩ハ第二年兵ニ同シ

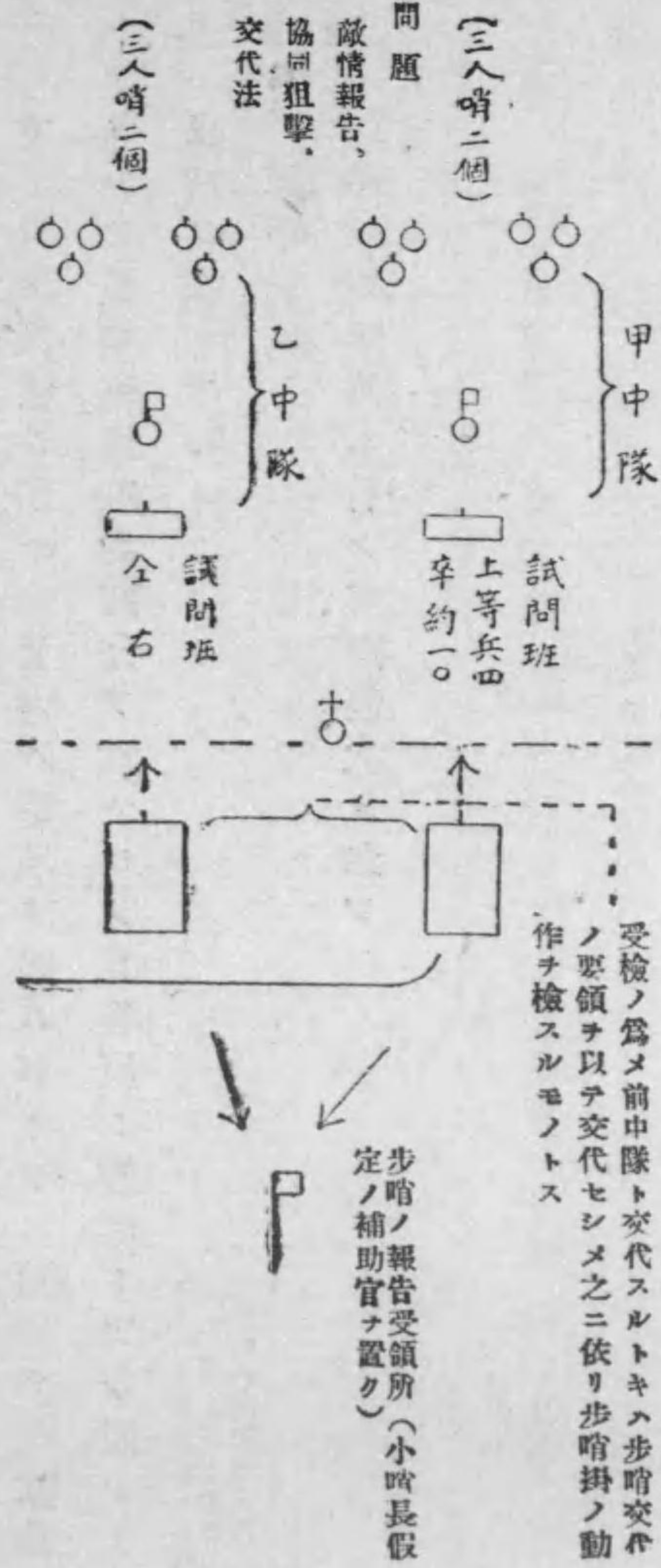
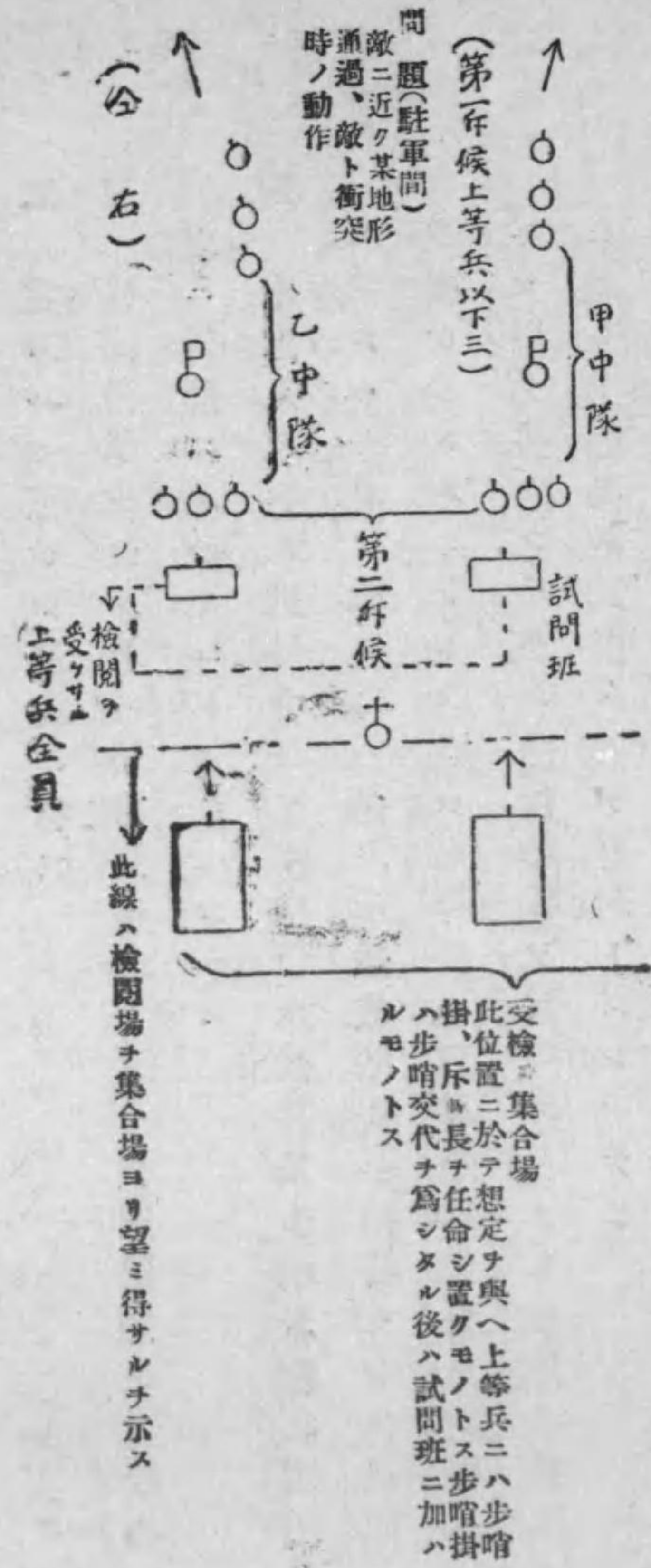
ロ 行進間ノ動作ハ半數ヲ速歩間トシ他ヲ駈歩間トス而シテ其科目ハ右(左)向、後向、分隊止レ等トス

六 第二年兵丙科目實施法

イ 學科檢閲ヲ受クヘク指定シタル者ヲ各個教練檢閲後所定ノ場所ニ集合セシメ補助官ニテ檢閲官ノ定ムル試問ヲ行フ其問題ハ主トシテ記憶シ在ルヲ要スル事項ヲ選ムモノトス而シテ中隊長ヲシテ兵卒程度優劣區分ヲ爲サシメ其程度ト答解トヲ對照シテ成績ヲ檢スルモノトス

ロ 陣中勤務

二中隊宛同時ニ行フ其要領次ノ如シ



備考

- 一 口〇ハ檢閲補助官ヲ示ス十〇ハ同助手ヲ示ス
- 二 講評ハ一括シテ最後ニ行フ
- 三 檢閲終了シタル者ハ勿論見學者ト雖モ檢閲問題ヲ未受檢者ニ告知スル如キコトアルヘカラス
- 四 中隊上等兵ノ總員中ヨリ步哨掛斥候長及步哨教育試問班ニ入ルヘキ者ヲ除ク外ハ悉ク斥候檢閲班ニ出場セシメ試問ヲ受ケシムルモノトス是レ上等兵ハ悉ク小斥候長タリ得ヘキヲ以テ多クノ兵卒ニ斥候動作ヲ試問スルヨリモ長ノ動作ニ就キ上等兵ニ試問スルヲ有利トスレハナリ
- 五 步哨報告受領所ハ檢閲場ニ關係ナク成ルヘク實際的ノ位置ト距離トニ設ケ補助官一名ハ小哨長トシテ步哨ノ報告ヲ

受ケ其動作ヲ檢スルト共ニ其報告詞ヲ筆記シテ檢閲官ニ報告スルモノトス

ハ 散兵各個教練

檢閲人員ノ算出ニ依リ三又ハ四區隊ニ分テ之ヲ一分隊トシ分隊長ヲ設ケ散兵動作ニ關スル號令ハ小隊長ヲ設ケ獨立小隊内ニ在ル分隊ノ想定ノ下ニ行ハシム其問題次ノ如シ

小隊ノ目標ニ對スル對向射擊
 目標ト地形ニ依リ射擊應用姿勢
 僅少度ノ目標變換ニ依ル射擊動作(各兵射擊角度ノ變換對向目標及姿勢ノ變換射擊速度ノ緩急)
 分隊長ハ行進ノ基準トナリ散兵ノ停止位置ヲ示スノミニシテ其他ノ責務ヲ爲サシメス二箇中隊宛相並テ行ハシメ講評ハ最後

ニ一括シテ行フ

問題ヲ受檢者ニ知ラシメサルコト陣中勤務ニ同シ

七 初年兵丁科目實施法

イ 學科ハ第二年兵ニ同シ

□ 散兵各個教練

檢閲人員ノ算出ニ依リ概ネ五又ハ六分隊トシ分隊長ヲ設ケ獨立分隊ノ想定ノ下ニ行ハシム其問題次ノ如シ

速歩及駈歩發進法(立射ヲ除ク)

伏、膝射停止法

分隊ノ目標ニ對スル對向射擊

突撃格闘トシテ直突二三回ヲ行ハシム

右ノ外第二年兵檢閲要領ニ同シ

檢閲ノ講評

一 吾人ハ檢閲官乃チ聯隊長ノ講評ニ就テハ頗ル苦心ノ存スルモノ在ルヲ感スルヤ久シ何トナレハ講評ハ單ニ當日ノ出來榮ヘニ因ルモノニ非スシテ監督上官ノ意圖、聯隊歴史、聯隊長ノ主義、將校團ノ關係、目下ニ於ケル聯隊ノ教育狀況、受檢者ノ能力、平素ノ教育成績、統御上必要トスル件等ヲ悉ク參酌シタルモノハ講評資料ノ半ハヲ成セルコト是レナリ故ニ中隊長ニ與フル講評ノ半ハハ既ニ準備セラレ在ルヘキモノニシテ此等ニ當日ノ成績ヲ加ヘ以テ教育令ニ示セル講評トナリテ部下ニ示サルルモノタルヘシ

二 吾人ハ試ニ吾人ノ懷抱セル教育上ノ主義ヲ基礎トシ前項ノ要領ニ關スルコトナク講評ノ順序ヲ研究スレハ次ノ如シ

イ 補助官ヲシテ其分擔任務ニ就キ規定ノ様式ニ依リ筆記報告

ヲ呈出セシム

□ 檢閱官ハ右ノ報告ヲ一讀シ自己ノ見ル所ヲ加ヘ判決ヲ記入ス

ハ 各判決ヲ綜合シ中隊平素ノ教育ニ照ラシ優秀ナル點ト缺陷トヲ求メ且ツ其原因ヲ決定シ茲ニ講評トナル

三 神ナラヌ人類ノ動作ニ缺點無シト云フヘカラス乃チ徒ラニ「床尾飯ノ位置不可ナルモノ何名、射擊疎漏ナルモノ何名、何々ノ正シカラサルモノ、何名有リタリ」ト云フ如ク斷片的ニ缺點ヲ列舉セラルルハ中隊長トシテ「ドウセ仕方カ無イ某程度迄ハ止ムヲ得ス」ト嘆セシムルノミニテ効果ノ薄キヲ感ス寧ロ「之ヲ通觀スルニ何々ノ缺陷多キ傾向アリ」將來如何ナル點ニ注意ヲ要ス」ト云フ如キ判決ヲ與ヘラルルヲ得策トセサル乎

第三十四 檢閱補助官

一 補助官ノ訓練

補助官ハ概ネ聯隊本部附佐尉官タリ此等ハ平常ニ於テハ各委員業務ヲ擔任セルカ爲メ殆ト演習ニ出場スルコト無シ之カ爲メ不知不識ノ間中隊教育ニ遠カリ實情ニ疎ナルニ至ルノミナラス突然檢閱ニ出場シテ自己從來ノ經驗ヲ基礎トシ漫然タル著眼ヲ以テ講評資料ヲ提出スルノ傾向無シトセス吾人ハ某地某隊ニ於テ新要務令ヲ知ラサル補助官ノ陣中勤務ヲ檢セルヲ見タルコト在リ勿論此等ハ極端ナルモ平常ニ於ケル教育ニ遠カルトキハ第一期檢閱ニ於テ肯綮ニ中ルヘキ所見ヲ檢閱官ニ提出スルヲ得サルヘク從テ檢閱講評ノ適實ヲ缺クノ原因トナリ檢閱ノ權威ヲ損スルコト大ナルモノ

在ルヘシ故ニ檢閱ニ補助官トシテ出ツヘキ諸官ハ每週少クモ一回各中隊ノ教育狀況ヲ視察シ以テ教育進歩ノ程度ヲ知り且ツ中隊ノ眞價ヲ豫メ判決シ在ルヲ必要トス然リ而シテ其視察ノ所見ハ之ヲ高級佐官ヲ經テ聯隊長ニ報告スルヲ可トセン聯隊長ハ更ニ其所見ニ注意ヲ與ヘ下付スルヲ得ハ更ニ可ナリ吾人ハ之ヲ以テ補助官ノ訓練ト稱シ自他ヲ利益スルノ良法ト信スルモノナリ

二 補助官ノ分擔業務

檢閱ニ於テ補助官ヲ適切ニ使用スルコトト補助官ハ檢閱官ノ主義ヲ知悉シ首尾一貫セル著眼ヲ以テ報告ヲ提出スルコトトハ講評ヲ有益ナラシムル一要素タルコト明カナリ故ニ第一期檢閱前ニ於テ此等ノ研究ヲ爲サシメ之ヲ指導シ置クハ緊要ナルト共ニ檢閱計畫ノ決定ハ豫メ打合セテ爲シ著眼要領ヲ定ムルヲ必要トセン又其

分擔任務ハ檢閱事項ノ大小ヲ顧慮シ適當ニ配當シ其報告事項ハ檢閱終了ト同時ニ提出セシメ得ハ檢閱ノ死節時ヲ減スルニ効果多キモノトス

歩兵教育私觀上卷終

大正七年二月十五日印刷
大正七年二月十八日發行

不許複製

步兵教育私觀上卷與附
(正價金七拾錢)

著者 久我正二郎

發行兼印刷者 宮本林治

印刷所 川崎活版所

東京市麴町區平河町四丁目十一番地

發行所 宮本武林堂

電話番町五五一八番
振替東京一〇九一二番

玄々居士編著

野外陣中要務問答

携帶至便
製本洋布製
價參拾五錢
郵稅貳錢

『陣中要務令』ハ上ハ高級指揮官ヨリ下ハ下士兵卒ニ至ル各階級ニ必要ナル勤務法ヲ規定セルモノニシテ初級幹部ノ直接其職務ヲ盡スニ緊要ナル事項ハ寧ロ甚タ多カラスト雖モ其活用ノ範圍ハ極メテ大ナリ
本書ハ即チ初級幹部ノ爲ニ直接須要ナル事項ヲ拔萃シ且ツ應用例ヲ舉ケテ本令ノ精神ヲ理解スルニ便ニシ殊ニ問答體ト爲シテ自習ノ用ニ供シタルモノナレハ下士上等兵諸君ノ爲メニハ無二ノ參考書タリ

T 氏 著

步兵中隊戰鬪教練

菊判洋布製
價六十八錢
郵稅

總論—中隊戰鬪教練ノ根本義—計畫(計畫ノ素因、計畫ト實施ノ關係、教育量、使用時日、地形、空包、想定……)—實施(指導法、教練ノ活氣、射撃指揮、援隊)—講評—計畫實施ノ範例—結論—附表(中隊戰鬪教練ニ於テ教育スヘキ事項、第二期中隊戰鬪教練教育計畫表、同上細目教育計畫表)引用附圖(青山、代々木練兵場五千分ノ一圖)

本書ハ教育家トシテ、戰術家トシテ、射撃家トシテ、且ツハ所謂精神家トシテ常ニ世人ノ、而シテ軍隊ノ模範テウ名聲ヲ恣ニセシT氏ノ著ニ係ル權威アル罕觀ノ一書ナリ、由來中隊教練ニ關スル著書尠シトセサルモ本書ノ如キハ蓋シ空前ト言フヲ憚ラス、是レ敢テ世ノ中隊教育ニ任シ及之ニ參スル諸官ノ爲ニ座右ノ珍トシテ特ニ推獎スル所以ナリ

陸軍士官學校長 橋本勝太郎閣下序文
陸軍士官學校教官 坂本政右衛門殿校閱
陸軍士官學校教官 伊藤政之助殿講述

陸軍士官學校

將校集會所發行
(取扱所 宮木武林堂)

現地戰術

步、騎、砲單兵種ノ戰闘 攻撃防禦
追擊退却 夜間戰闘 宿 營
前哨 局地戰各種 諸偵察判斷

各作業ニ插圖(三百箇)ヲ用
キテ對照研究ニ便ナラシム

上下二冊 製本洋布製
插圖三百箇 紙數八百六十頁
價 貳 圓 送料内地貳拾錢
外地貳拾錢

本書ハ陸軍士官學校生徒ノ爲實施セラレタル現地戰術ノ輯録ナリ。其設想實際、指導適切、説明穩健、纂輯斬新ナル共ニ異色在リ。而シテ其説ク所時ニ精神的方面ヨリシ、或ハ教育上ノ見地ヨリシ、又ハ戰史ノ例證ヨリシ、乃至ハ常識ノ判斷ヨリシテ推シテ戰術トノ調和ヲ律ス。乃チ戰術研究者及將校團教育並精神修養上無二ノ好參考書ナリ

3/8
372

7

終